

令和3年度 3年(算数) 年間計画および評価の概要

横浜市立緑小学校

月	《単元名・教材名》	時数	《単元目標》	観点別評価規準		
				知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4	学びのとりば	1	・算数科の学び方、問題解決の方法やノートづくり方を共有したり、教科書の使い方を確認したりして、子どもたちが自ら教科書を有効に活用して、主体的、対話的で深い学びを実現で			
	九九を見なおそう 【かけ算】	9	乗法に関して成り立つ性質やきまりなどの理解を深め、数学的表現を適切に活用して九九の範囲を超える計算の仕方を考える力を養うとともに、乗法の計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	乗法に関して成り立つ性質やきまりを理解し、それらを活用して被乗数や乗数が0や10の乗法計算をすることができる。	乗法に関して成り立つ性質やきまりに着目し、九九の範囲を超える乗法の計算方法を、図や式などを用いて考え、表現している。	九九の範囲を超える乗法の計算方法について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
	時ごとと時間のもとめ方を考えよう 【時ごとと時間のもとめ方】	4	秒について知り、時間に関する理解を深めるとともに、数学的表現を適切に用いて時刻や時間の求め方を考える力を養い、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	秒について知り、他の時間の単位との関係を理解するとともに、時刻や時間を求めることができる。	時間の単位に着目し、時間を既習の量と統合的にとらえるとともに、図などを用いて時刻や時間の求め方を考え、説明している。	時刻や時間に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
5	同じ数ずつ分けるときの計算を考えよう 【わり算】	9	除法の意味について理解し、乗法九九1回適用の除法計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、除法の計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	除法が用いられる場合や除法と乗法などとの関係について知り、除法の意味について理解するとともに、除法計算をすることができる。	数量の関係に着目し、等分除と包含除を除法として統合してとらえるとともに、具体物や図、式を用いて計算の仕方を考え表現している。	除法の意味や計算方法について、式や図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
	大きい数の筆算を考えよう 【たし算とひき算の筆算】	8	3～4位数の加減法の筆算の仕方を理解しその技能を身につけ、既習の数の構成や筆算の仕方を活用して筆算の仕方を考える力を養うとともに、筆算の仕方をまとめた過程を振り返り、既習と統合的にとらえようとして今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	3～4位数の加減法の筆算は、2位数などの基本的な加減法の筆算の仕方を基に考えればよいことを理解し、それらの計算をすることができる。	数の構成に着目し、2～3位数の加減法の筆算の仕方を活用して3～4位数の加減法の筆算の仕方を図や式などを用いて考え表現し、筆算の仕方を一般化してまとめている。	3～4位数の加減法の筆算の仕方を、既習の筆算の仕方や、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
6	考える力をのばそう 「重なり」に注目して	1	・2つの量の重なる部分に着目する問題を通して、数量の関係を図に表し考える能力を伸ばす。		線分図を活用して2つの量の重なる部分に着目し、答えの求め方を考え、説明している。	数量の関係を線分図に表し、問題を解決したことを振り返り、価値づけている。
	長い長さははかって表そう 【長いものの長さのはかり方と表し方】	7	量の単位や測定について理解し適切に単位を用いて長さを表したり、およその見当をつけ計器を適切に選択して測定したりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して既習の単位を含めた単位の間隔を統合的に考える力を養い、身の回りのものの長さを測定した過程を振り返り、量感覚を身につけ、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	長さの単位(キロメートル(km))や測定の意味を理解し、長さについての豊かな感覚をもつとともに、それらを活用して適切に長さを単位で表したりおよその見当をつけ適切な単位や計器を選択して測定したりすることができる。	身の回りのものの長さや長さの単位に着目し、長さの測定の方法や単位の間隔について説明している。	長さについての単位や計器を用いて身の回りのものの長さをはかったり、既習の単位との関係について考えたりしたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
	数をよく見て暗算で計算しよう 【暗算】	3	2位数どうしの加減法の暗算について理解し、計算することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して暗算による計算の仕方を考える力を養い、暗算のよさを振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	被減数が100の減法の暗算や2位数どうしの加減法を暗算で計算することができる。	数の構成や加減法に関して成り立つ性質に着目して、暗算による計算の仕方を工夫して考え、説明している。	2位数どうしの加減法を暗算で計算したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
7	わり算を考えよう 【あまりのあるわり算】	7	わり切れない場合の除法や余りについて理解し、計算することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、除法の意味や計算の仕方を具体物や図、式を用いて表す力を養うとともに、問題場面における数量の関係に着目し、数理的に処理した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	わり切れない場合の除法の計算や余りと除数の大小関係についての理解し、それらを活用して数量の関係をとらえることができる。	数量の関係に着目し、わり切れる場合とわり切れない場合の除法を統合してとらえ、除法の意味や計算に成り立つ性質について考え、説明している。	日常生活の問題を解決した過程や得られた結果を吟味したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
	10000より大きい数を調べよう 【大きい数のしくみ】	10	万の単位や1億までの整数について知り、十進位取り記数法や4桁区切りによる命数法(万進法)を基に、大きな数の読み方や計算の仕方を考えるとともに、整数の表し方について数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	万の単位や1億までの整数を知り、十進位取り記数法についての理解を深めるとともに、10倍、100倍、1000倍、1/10にした数や、数や式の相等、大小関係を等号や不等号を用いて表す方法を理解している。	数の構成や仕組みに着目し、万の単位を用いた数の仕組みについて類推して考え、大きな数の大小の比べ方や表し方を統合的にとらえ、説明している。	1億までの数の仕組みや表し方について、統合的にとらえた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
	大きい数のかけ算のしかたを考えよう 【かけ算の筆算(1)】	11	2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算の仕方について理解し、確実に計算することや成り立つ性質について理解できるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、乗法の成り立つ性質を活用したり、計算を確かめたりしながら、計算した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	2～3位数×1位数の乗法の筆算の仕方を理解し、それらを活用して計算することができる。	数の構成や既習の乗法計算に着目し、2～3位数×1位数の筆算について考え、説明している。	2～3位数×1位数の筆算の仕方について、乗法九九などの基本的な計算を基に考えたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

10	わり算や分数を考えよう [大きい数のわり算、分数とわり算]	4	簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方や分数と除法の関係について理解し、計算ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して計算方法や問題場面における分数の意味について考える力を養い、既習の計算方法や分数を除法としてみた過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	• 簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について理解し、計算することができる。 • 分数で表される場面を適切にとらえ、除法を用いて答えを求めることができる。	• 簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について、既習の計算の仕方や図などを用いて、数の構成に着目して考え、説明している。 • 等分することや分数の意味に着目して、分数で表されている場面について、除法を用いて計算することを考え、説明している。	• 簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について、具体物や図、式を関連づけたり、既習の計算の仕方などを基に考えたりしながら、その過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 • 分数と除法の関係やもとの数と分数の関係を考えてきた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
	どんな計算になるのかな？	1	加減乗除法を適用して問題を解決することを通して、演算を決定する能力を伸ばす。	問題場面を理解し、適切に立式し計算することができる。		主体的に数学的活動に取り組み、既習内容を活用して、どんな式を用いて解決すればよいかを考えようとしている。
11	まるい形を調べよう [円と球]	8	円や球を構成する要素や性質について理解し、コンパスを用いた作図や長さをはかり取ったり移したりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して構成の仕方や身の回りのものを円や球として考える力を養い、図形をかいたり確かめたりする活動を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとしている。	円の中心や半径、直径について、円に関連して球の直径などを理解し、それらを活用してコンパスで円をかいたり、等しい長さをはかり取ったり移したりすることができる。	円や球を構成する要素に着目し、構成の仕方や身の回りのものに図形の性質がどのように活用されているかについて考え、説明している。	円や既習の図形の作図を基に模様をかくなどの活動を通して、身の回りから円や球を見つけたり、図形のもつ美しさに関心をもったりしたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
	数の表し方やしくみを調べよう [小数]	12	小数の意味や表し方について理解し、加法及び減法の計算ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して小数の表し方や仕組み、計算の仕方を整数の十進構造と関連づけて考え、小数の意味や表し方について振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	端数部分の大きさを表す際に小数を用いることや小数の仕組みについて理解し、それらを活用して1/10の位までの小数の加減法の計算をすることができる。	数の表現や数のまとまりに着目し、小数の記数法は整数の十進位取り記数法を拡張したものにとらえ、数の大小関係や加減法の計算について考え、説明している。	数の表現や数のまとまりに着目し、小数の記数法は整数の十進位取り記数法を拡張したものにとらえ、数の大小関係や加減法の計算について考え、説明している。
	重さをはかって表そう [重さのたのしいとはかり方]	9	重さの単位と測定について理解し、適切に単位を用いて重さを表したり、およその見当をつけ計器を適切に選択して測定したりできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して単位の関係を統合的に考える力を養い、重さの表し方について考えた過程を振り返り、量感覚を身につけ、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	重さについて、単位や単位の関係を理解し、およその見当をつけ、適切な計器を選んで測定することができる。	身の回りのものの重さやその単位に着目し、量感覚を身につけたり、単位の関係を統合的に考え、説明したりしている。	身の回りにあるものの重さやそれらを数値化することのよさ、普遍単位の必要性を振り返り、数理的な処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。
12	分数を使った大きさの表し方を調べよう [分数]	10	分数の意味や分数を用いた大きさの表し方を理解し、分数の加法及び減法の計算ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して分数での端数の表し方や小数との関係を考える力を養い、分数の仕組みを用いて考えた過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	端数部分を表す数や大きさを表す数としての分数やその表し方を理解し、それらを活用して分数の加減法の計算や1/10の位までの小数と分母が10の分数の関係について理解している。	分数は基準量を任意に等分した単位分数のいくつ分かを表していることに着目して、数の大きさを図に表したり、計算したりする方法を考え、説明している。	分数を用いることで、整数で表せない等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表せるようになることを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。
	□を使って場面を式に表そう [□を使った式]	4	未知の数量を表す□を用いて数量の関係を式に表すことについて理解し、数量の関係を式に表したり、□に数をあてはまる数を調べられるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して数量の関係を簡潔に表したり、式の意味を読み取ったりする力を養い、数量の関係を表す式を考察した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	数量の関係を表す式に未知の数量を表す□を用いることを理解し、それらを活用して問題場面を式や図に表したり、式の意味を読み取って問題場面を考え、□にあてはまる数の調べ方を理解したりしている。	数量の関係や問題場面に着目し、数量の関係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連づけて読み取ったりすることを通して未知の数量を表す□を用いた式について考え、説明している。	未知の数量を□を用いて表すことで、問題場面を式や図に表せることのよさを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。
2	かけ算の筆算を考えよう [かけ算の筆算(2)]	10	2～3位数に2位数をかける乗法の計算について理解し、その計算が確実にできるようにし、乗法について成り立つきまりについて理解することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、計算した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	2～3位数×1位数の乗法の筆算の仕方を活用して、2～3位数×2位数の乗法を筆算で計算することができる。	数の構成や乗法について成り立つきまり、既習の2～3位数×1位数の筆算の仕方に着目し、2～3位数×2位数の筆算の仕方について考え、説明している。	2～3位数×2位数の筆算について、既習の計算方法を基に考えたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。
	倍の計算	3	数量の関係や倍の意味について理解し、比較量や基準量、割合を求められるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して倍の意味を図や式を用いて考える力を養い、二つの数量の関係を考察した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	数量の関係や倍の意味を理解し、問題場面に応じてテープ図や□を使った式などを用いながら、答えを求めることができる。	問題場面や数量の関係に着目し、倍の意味や計算方法について考え、説明している。	問題場面や数量の関係、倍の意味について考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。
	三角形を調べよう [三角形と角]	8	円を用いた作図を通して二等辺三角形や正三角形の辺の特徴や角の大きさについて理解し、図形の特徴をとらえることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して図形を構成する要素や構成の仕方を考える力を養い、辺の長さや角の大きさに着目し、図形を考察した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	二等辺三角形や正三角形の辺の特徴や角の大きさについて知り、それらを活用してそれぞれの図形の意味や性質、作図の方法を理解している。	図形を構成する要素に着目し、二等辺三角形や正三角形の性質を考えると、それらの作図の仕方について考え、説明している。	辺の長さや角の大きさなどの図形を構成する要素に着目し、身の回りのものの形を図形としてとらえたことを振り返り、図形の敷き詰めなどの活動によって模様的美しさや平面の広がりを感じ、今後の生活や学習に活用しようとしている。

3	わかりやすく整理して表そう 〔ぼうグラフと表〕	10	日常の事象について、観点別にデータを分類整理することについて理解し、表や棒グラフに表したり読み取ったりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して表やグラフから見出したことを考察する力を養い、データを整理し考察した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	日時や場所などの観点別にデータを分類整理することを理解し、それらを活用して表や棒グラフから項目間の関係や集団のもつ全体的な特徴を読み取ったりすることができる。	目的に応じてデータを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表や棒グラフを用いて考察したり、見出したことを分かりやすく表したりする方法について考え、説明している。	データを分類整理したり、それらを基に身の回りの事情について考察したりした過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。
	そろばん	2	そろばんによる数の表し方について理解しそろばんを用いて簡単な加法及び減法の計算ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して大きな数や小数の仕組みを考える力を養うとともに、計算の過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	そろばんを用いた加減計算の仕方を理解し、それらを活用して簡単な加減計算をすることができる。	そろばんの仕組みや十進位取り記数法の仕組みに着目し、数の入れ方や払い方を考え、説明している。	そろばんの仕組みと十進数の仕組みを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
	考える力をのばそう 「間の数に注目して」	1	直線や円周上に等間隔に配置されたものの数と間の数との関係に着目して、図を用いて問題内容を整理し、考察する力を伸ばす。	図や式を用いて、直線上に配置された場合と円周上に配置された場合の違いを理解している。	対応の考えに着目して、直線上に等間隔に配置された場合について、間の数とものの数の関係を考え、説明している。	
	3年のふくしゅう	3	既習内容の理解を確認する。	既習内容について解決の仕方を理解し、問題を解決することができる。		